

ウメ生産農家の経営上の問題点と今後の意向

[研究のねらい]

ウメは中国からの輸入増加や景気低迷などで価格が低下し、農家の収益性も不安定となっています。ウメ産地の改善策策定の基礎資料として、経営上の問題点と栽培面積・管理に対する意向をウメ栽培規模別に明らかにします。

[研究の成果]

- ①ウメ生産農家では、「ウメの生産が過剰で価格が低迷している」、「輸入ウメの増加により国産ウメの価格が下がった」、「ウメの生育不良問題が心配である」などが大きな問題となっています（図1）。
- ②多くの農家はより手間をかけて高品質なウメの生産を志向していますが、ウメ栽培規模の小さい農家では栽培面積規模の縮小、中～大規模農家では規模の拡大と省力化を志向する動きが一部にみられます（図2、図3）。

[成果の活用面・留意点]

- ①ウメ生産振興計画を策定する際の基礎資料として活用できます。

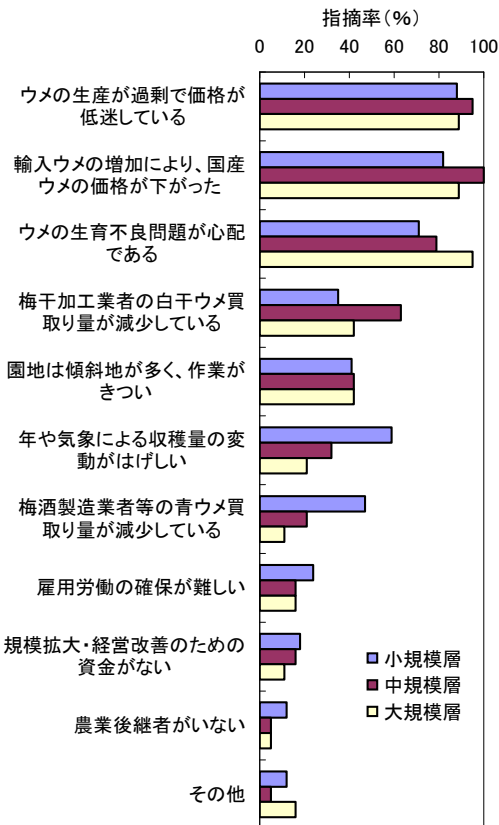


図1 ウメ生産農家が抱える経営上の問題点 (5つ選択)

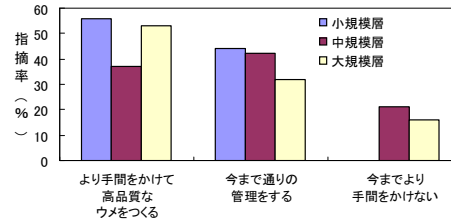


図2 ウメ栽培管理に関する今後の意向

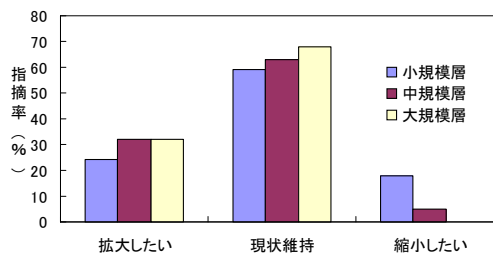


図3 ウメ栽培面積に関する今後の意向



資料:旧田辺市、旧南部町、旧南部川村のウメ生産農家に対するヒアリング調査(2001年7~8月実施)
 「小規模層」:ウメの栽培面積が150a未満、「中規模層」:150a以上250a未満、「大規模層」:250a以上。
 農家数は小規模層17戸、中規模層19戸、大規模層19戸。

実施期間:平成12~13年度
 担当者:西岡晋作、辻 和良